

ルワンダ月報（２０２０年２月）

主な出来事

日・ルワンダ関係

- ９日，第５回ルワンダ空手道日本大使杯の開催

内政

- ６日，ウウィゼニマナ憲法・法務担当国務大臣及びムニャカジ初等・中等教育担当国務大臣の辞職
- １４日，ガシュンバ保健大臣の辞職
- １６日，内閣改造により１０大臣の任命

外政

- ６日－９日，フランス国会議員４名のルワンダ訪問
- ９日－１０日，カガメ大統領，第３３回ＡＵ（アフリカ連合）サミット出席
- １０日，カガメ大統領夫人，第２４回アフリカ・ファーストレディ開発総会（ＯＡＦＬＡＤ）出席
- ２１日，関係修復のための第４回会合（四者首脳級）の開催

経済

- ５日，カタール航空によるルワンダ航空株４９％の保有の可能性
- ５日－７日，アフリカ・ドローン・サミットのキガリ開催
- ７日，ルワンダ中央銀行による政策金利５％の発表
- ７日，ルワンダ・ソマリア間の航空サービス協定（ＢＡＳＡ）の署名
- １１日－１２日，ルワンダ開発庁（ＲＤＢ）の国際地中海観光展（ＩＭＴＭ３２０２０）への参加
- １８日，ルワンダ初の製薬会社ＡＰＥＸＢＩＯＴＥＣＨ社の創立

その他

- １日，使い捨てプラスチック製品に対する罰金制度の開始

※以下は，明示的に記載されたものを除き，ルワンダの英字日刊紙 The New Times の記事のとりまとめ。

日・ルワンダ関係

- （１）第５回ルワンダ空手道日本大使杯の開催（１０日）
９日，キガリ高校にて，在ルワンダ日本大使館とルワンダ空手連盟（ＦＥＲＷＡＫＡ）は，第５回ルワンダ空手道日本大使杯を共催した。

内政

(1) 国務大臣 2 名の辞職 (7 日)

6 日, ウウィゼニマナ憲法・法務担当国務大臣及びムニャカジ初等・中等教育担当国務大臣が辞職した。

(2) 新大臣 10 名の任命 (26 日)

26 日, カガメ大臣は大臣 5 名, 国務大臣 5 名を新たに任命した。新しく任命された大臣は以下のとおり。①ガミジェ (Hon. Dr. Daniel Ngamije) 保健大臣 (前職はWHO勤務), ②ウワマリヤ (Hon. Dr. Valentine Uwamariya) 教育大臣 (前職はルワンダ・ポリテクニクの副学長及びルワンダ大学教官) ③バイセンゲ (Hon. Dr. Jeannette Bayisenge) ジェンダー・家族促進大臣, ④ムパンバラ (Hon. Ines Mpambara) 内閣問題担当首相府大臣。⑤カイシレ (Hon. Marie-Solange Kayisir) 緊急事態大臣 (前職は内閣問題担当首相府大臣), ⑥タワジライエズ (Hon. Dr. Gaspard Twagirayezu) 教育省初等中等担当国務大臣, ⑦マフンガ (Hon. Lt. Col. Dr. Tharcisse Mpunga) 保健省公共・一次医療担当国務大臣, ⑧ツサベ (Hon. Richard Tusabe) 財務・経済計画省経済計画担当国務大臣, ⑨ニラハビマナ (Hon. Solina Nyirahabimana) 司法省憲法・法務担当国務大臣 (前職はジェンダー・家族促進大臣), ⑩イレレ (Hon. Claudette Irere) 養育省職業訓練・技術教育担当国務大臣 (前職はICT省次官)

外政

(1) フランス国会議員のルワンダ訪問 (8 日)

6 日ー9 日, フランスの国会議員 4 名がルワンダを訪問し, シドゥフンギレヘ EAC 担当国務大臣と面談した。訪問の目的は, HIV, 結核, マラリアなどの感染症の予防に向けた保健政策支援に関する協議及び二国間関係の強化である。

(2) カガメ大統領の AU サミット出席 (10 日)

9 日ー10 日, カガメ大統領は, アディスアベバにて開催された第 33 回 AU サミットに出席し, 2017 年以来, AU 改革は進捗していると述べた。AU は, 包括的な経済成長と開発のためのアフリカ・アジェンダ 2063 の策定を進める責務を担っている。

(3) カガメ大統領夫人の第 24 回開発のためのアフリカ・ファーストレディ協会 (OAF LAD) ハイレベル会合への出席 (11 日)

10 日, カガメ大統領夫人は, 「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント: 我々が望むアフリカへの道」と題された第 24 回 OAF LAD に出席した。同総会は, アディスアベバでの第 33 回 AU サミットのサイド・イベントとして開催

された。

(4) カガメ大統領のモイ元ケニア大統領の葬儀参列 (12日)

10日、カガメ大統領は、4日に逝去したモイ・ケニア元大統領の葬儀に参列し、弔意を述べた。

(5) ウガンダ在住ルワンダ人の引渡し (18日)

18日、ウガンダ政府が、ルワンダ政府の要求に応え、昨年10月3日に発生したムサンゼ郡キニギ地区襲撃事件の容疑者2名を含むウガンダ在住ルワンダ人計13名を在ウガンダ・ルワンダ大使館に引渡した。

(6) 関係修復のための第4回会合(四者首脳級)の開催 (21日)

21日、ガトゥナーカトゥナ国境(ルワンダーウガンダ国境)にてルワンダ・ウガンダ関係修復のための第4回会合(四者首脳級)が開催され、ロウレンソ・アンゴラ大統領、ムセベニ・ウガンダ大統領、カガメ・ルワンダ大統領、チセケディ・コンゴ(民)大統領が出席した。ルワンダ政府は声明を発表し、ウガンダ政府に対する要求を述べた。

経済

(1) ルワンダ開発庁(RDB)と国連食糧農業機関(FAO)間のパートナーシップ提携 (5日)

5日、RDBとFAOは、園芸、畜産、アグリ・ビジネスにおける人材育成及び農業バリュー・チェーンの電子化を目的としたパートナーシップを提携した。「国内農家の人材育成支援及びルワンダの電子商業の促進と題した3年間の同プロジェクトは、農家、企業、農業分野のバリュー・チェーン関係者の収穫量向上及び収入向上を目指す。RDBは、農業・動物・資源省及びICT省と共に同プロジェクトを実施する。

(2) ルワンダ航空とカタール航空間の交渉 (6日)

5日、マコロ(Yvonne Manzi MAKOLO)ルワンダ航空社長は、ドーハで開催されたCAPAカタール航空サミットに出席し、ベーカー(Akbar Al BAKER)カタール航空グループ社長と会談した。両社は、2020年上半期を目指し、株の保有に係る交渉を進めており、カタール航空がルワンダ航空の株式の49%を保有する可能性がある。2019年12月、両航空会社は、ルワンダのブゲセラ空港に係る合併会社の設立、所有及び国際空港の運営について合意、署名している。

(3) アフリカ・ドローン・サミットの開催 (6日)

5日-7日、カガメ大統領は、キガリで開催されたアフリカ・ドローン・サミットに出席した。同サミットには、44か国から800名以上の関係者が参加した。ルワンダでは、Zipline社が血液空輸、国内のドローン会社による農作物の育成状況と分布のモニタリング及び防蚊対策用薬剤の試験散布、空中からの送

電線点検などが行われている。

(4) 政策金利 5 % の継続 (8 日)

7 日、中央銀行は、金融政策委員会にて、5 % の政策金利を維持する旨発表した。2019 年 5 月に政策金利を 5.5 % から 5 % に修正したのは、2018 年から 2019 年初頭の低いインフレ率に由来する。2019 年第 3 四半期のインフレ率は、食料価格にけん引されて 6 % となったが、中央銀行は、2020 年のインフレ率について、5 % をわずかに上回る程度で基準値内にとどまると予想している。

(5) ルワンダ・ソマリア航空サービス協定の署名 (8 日)

7 日、ルワンダとソマリアは二国間航空サービス協定 (BASA) に署名した。ソマリアは、ルワンダにとって 100 番目の BASA 締結国となった。

(6) ルワンダ開発庁 (RDB) の国際地中海観光展 (IMTM2020) への参加 (11 日 : RNA)

11 日 - 12 日、RDB は、在イスラエル・ルワンダ大使館及びルワンダの観光業者と共に、イスラエルで開催された IMTM で、ビジネス・マッチングなどに参加した。

(7) Standard and Poors (S & P) によるルワンダの信用格付は B+ (12 日)

7 日、S & P が発行した報告書によると、ルワンダの信用格付は 2019 年 8 月と変わらず B+ であった。S & P は、2020 年から 2023 年のルワンダの年間 GDP 成長率について、建設、エネルギー、スタジアム、学校、保健、民間居住区、商業不動産などのけん引により 7.7 % になると予想している。また、同報告書では、ルワンダ政府は、スズ、タングステン、タンタルの伝統的資源及び天然石などの非伝統的資源の増産を推奨されている。

(8) タクシー・バイクのキャッシュレス化 (13 日)

13 日、2019 年 7 月までにキャッシュレス化する予定であったタクシー・バイクの支払システムについて、政府は、今年 5 月までに実施を延期すると発表した。政府は、2024 年までにキャッシュレス経済の実現を目指している。

(9) ルワンダ初の製薬会社の創立 (19 日)

18 日、ルワンダ初となる製薬会社 APEX BIOTECH 社が、ルワンダ食品・医薬品規制庁 (FDA) に承認された。ルワンダとバングラデシュの投資家による共同所有の同社工場は、キガリ経済特区 (SEZ) で操業を開始した。

(10) ポーランド議員のルワンダ訪問 (19 日)

19 日、約 10 名のポーランド議員が、主に農業分野への投資を検討する目的でルワンダを訪問した。

(11) 第 3 回世界コーヒー生産者フォーラムの開催予定 (21 日)

2021 年 7 月、世界中のコーヒー農家及び生産者がコーヒーのバリュー・チ

エーンを評価する第3回世界コーヒー生産者フォーラムのキガリ開催が予定されている。

その他

(1) 使い捨てプラスチック製品の製造、販売、使用に対する罰金の開始(13日)

2月1日から、使い捨てプラスチック製品の卸売業者、小売業者、消費者に対して罰金徴収が執行されている。2019年10月、環境省は、プラスチック・バッグ及び使い捨てプラスチック製品の製造、輸入、使用及び販売を禁止し、在庫整理のために3か月の猶予期間を与えた。製造業者に対しては2年間の猶予期間が与えられている。ルワンダには、プラスチックのリサイクル会社が6社あるが、リサイクル処理能力が10%程度であり、(環境対策の)解決策とはならない。罰金については以下の通り。①使い捨てプラスチックの製造業者の営業停止、違反者は1,000万ルワンダ・フラン(100万円)相当の罰金、②卸売業者の違反は70万ルワンダ・フラン(7万円)相当の罰金及び製品の没収、③小売業者の違反は30万ルワンダ・フラン(3万円)相当の罰金及び製品の押収、④法律に定められていない土地への廃棄は5万ルワンダ・フラン(5千円)相当の罰金、⑤使い捨てプラスチック製品の使用が許可されている者及び企業が、推奨された方法に従わない場合は500万ルワンダ・フラン(50万円)相当の罰金及び営業許可の剥奪。

(2) Giants of Africa フェスの開催予定(21日)

20日、カガメ大統領とウジリ(Masai UJIRI) Giants of Africa(2003年設立のNGO、アフリカ17か国の15歳から19歳の若者にバスケットボールの指導を行う)創設者兼ナショナル・バスケットボール協会(NBA)トロントRaptors会長は、8月16日から20日まで、アフリカ11か国(ナイジェリア、セネガル、カメルーン、マリ、ケニヤ、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ、コンゴ(民)、南スーダン、ソマリア)から200名以上の若者を集め、Giants of Africa フェスをキガリで開催すると述べた。同フェスは、バスケットボールの試合を行うだけでなく、世界中のビジネス・リーダーにも参加を呼びかけ、若者を対象にリーダーシップ及び教育セミナーを開催する。

(了)